

気象記念日講演会

『今までの気象とこれからの気象－地球温暖化を考えよう－』の開催について

本年7月7日に開催される北海道・洞爺湖サミットでは地球温暖化対策が中心議題となります。これを機に、地球温暖化に関する正しい知識の普及を推進するとともに、地球温暖化対策の必要性をご理解いただくことを目的に気象記念日のイベントのひとつとして講演会を東京で開催いたします。

本講演会のテーマは『今までの気象とこれからの気象－地球温暖化を考えよう』として、地球温暖化の現状と予測、社会的な影響に関する科学的知見を伝える講演とともに、地球温暖化に伴う悪影響への対策や、増加する自然災害を回避するための取り組みについての講演を行います。

- 1 期日 平成20年6月20日（金）
時間 受付・開場 17:00 開演 17:30 終演予定 20:10
- 2 場所 日経ホール（大手町 日本経済新聞社8階）
- 3 実施 主催：国土交通省気象庁
後援：（社）日本気象学会、（財）気象業務支援センター、
（財）日本気象協会等を予定
- 4 実施内容
演題1：「地球温暖化に関する最新の科学的知見」
講師：高野清治 気象庁地球環境・海洋部気候情報課長
演題2：「地球温暖化の影響と社会を守る対策」
講師：三村信男 茨城大学教授・地球変動適応科学研究機関長
演題3：「温暖化克服へ向かうメタルカラーの日本力」
講師：山根一真 ノンフィクション作家
- 5 参加方法 入場無料（定員500名）、内容的には高校生以上を対象にしています
予 約：はがき or 気象庁HPからの事前予約が必要です。
※募集案内は5月20日頃、気象庁HPにて発表します。
- 6 問合せ先 気象庁広報室 TEL03-3212-8341（内線）2126
- 7 参考 地球温暖化に関する情報は、下記ホームページをご覧ください。
気象庁地球環境ポータルサイト <http://www.data.kishou.go.jp/obs-env/portal/>

講演内容

○演題1 『地球温暖化に関する最新の科学的知見』(40分)

気象庁地球環境・海洋部気候情報課長 高野清治

IPCC 第4次評価報告書に基づいて、過去から未来にわたる気候変動の様子と、今後地球温暖化に伴って顕在化が予想される影響についてお伝えします。また、次の講演への導入として、統合報告書で示されている緩和・適応対策オプションを紹介いたします。

○演題2 『地球温暖化の影響と社会を守る対策』(40分)

茨城大学教授・地球変動適応科学研究機関長 三村信男

地球温暖化に伴う大雨頻度の増加や海面水位上昇により、洪水リスクの増加や国土の喪失が懸念されます。これらの悪影響を防ぐために、日本とアジア・太平洋諸国で考えられている様々な対策について解説していただきます。

○演題3 『温暖化克服へ向かうメタルカラーの日本力』(60分)

ノンフィクション作家 山根一眞

地球温暖化に伴って増加する自然災害の防止と減災のために、わが国の技術者が取り組む姿を、膨大な現場の取材に基づいて紹介していただきます。